

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2013.10.No194

10月号

目次

地域の建造物資産を生きそう……1
特集 北海道建築士会会員作品の紹介……2
道士会の動き……4
実行委員会報告……5
〔地域貢献活動センター・総務・事業〕
青年・女性の窓……6
〔No.62 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会〕
支部だより……7
〔網走・上富良野・北見〕
information……8

URL <http://www.h-ab.com/>

地域の建造物資産を生きそう

ヘリテージマネージャー特別委員会 委員 関川 修 司 (北広島支部)

建築物は、不思議な存在と思う。人が生活し、仕事をする空間であるのに、建築物そのものに興味を持つ人は幾人いるだろうか。施主や設計者の意図があり、風土、地理、民俗、民族、宗教、生活様式、労働環境等々が込められた器であるのに、内部の展示物や装飾物に感激はするが、建築物としては、外観を見るだけではないだろうか。作工物なら尚更のことではないだろうか。

昨今「〇〇資産」というものが、大流行である。少し前までは「遺産」であった。「遺産」を「資産」に換えた。資産であれば、大いに活用しようではないか。まちおこしが叫ばれて久しいが、全道各地で、建造物資産はどれほど活用されているだろうか。

国レベルの国宝や重要文化財、史跡がない町でも人が住んでいた。と言うことは、その分だけ「資産」があると言うことである。折角先人が遺してくれた資産である、大いに活用しませんか。

今、北海道建築士会では、建造物の資産を生かす構想がある。建造物資産の利活用されない、しない理由の殆どが、大きな費用がかかるからである。

果たしてそうだろうか。建造物資産は、歴史、想像力、希望、技術、その他様々なことを教えてくれる。

建造物のナリタチ・イワレはその地域の歴史資産であり、社会教育資産である、更に観光資産である。

右に3枚の写真を載せる。文化財の種類はそれぞれである。歴史が浅いと言われている北海道であるが、独自の建物もある①。人知れず建っていた豪邸があり②、撤去されずに遺った建造物もある③。

多種多様な建造物が、数多く残っている。取り壊しも行われている。

近々、北海道建築士会の皆様に、保全のために声をかけます。その時は、地域資産のために参集下さい。新築ばかりでなく保全することもできる建築職・技術職であればこそ行える活動です。



史跡 旧島松駅通所①



登録文化財 旧岡田邸②



旧中湧別小学校奉置所③

10月号会誌は、発送業務の都合上10月2日(水)の送付となります。

北海道建築士会会員作品の紹介

さっぽろ下手稲通整形外科

設計監理：中井 寿也（札幌支部）
アトリエ TARO

建物概要

所在地：札幌市手稲区前田5条12丁目13-35
建物用途：診療所
構造規模：RC造、地上3階
延床面積：1,026.32㎡
建築年：平成24年2月

設計の意図等

商業施設が多く建つ環境での計画です。建物は単純なBOXとし、1FをRC打放し、2～3Fを白色のタイル+ガラスカーテンウォールを用いて、白い箱が宙に浮いているイメージを表現しました。シンプルなデザインとした事で、清潔感が感じられると同時に、周辺環境の中でも、存在感ある建築に仕上がったと思います。2F待合室は、交通量の多い下手稲通りに面しているが、和紙入りガラスを採用した事により、開口部を大きく設けても外部からの視線を遮りながら、自然光のやわらかい明るさを室内に取り入れる事が出来ました。また3Fリハビリ室は、手稲山方面を一望できる『展望リハビリ』とし、風景を取り入れた開放感のある空間となりました。
(原文抜粋記載)



写真：上／外観(下手稲通り面) 下左／外観(展望リハビリ面) 下右／待合室

薪ストーブの家

設計監理：佐藤 滋（釧路支部）
有限会社 丸源建設一級建築士事務所

建物概要

所在地：釧路市白樺台
建物用途：専用住宅
構造規模：木造、地上2階建
延床面積：92.97㎡
建築年：平成25年8月

設計の意図等

40代成りたての夫婦二人の住まい。
夢でもある薪ストーブをメイン暖房に、補助暖房としてエアコンを装備。
表しの梁、床は唐松の無垢のフローリング、外壁も唐松の羽目板、玄関ポーチの霧除けの軒裏も木の表し木の温かみを多く取り入れてみました。
施主様のイメージを何とかかたちに出来た住宅です。



写真：上／外観 下左／薪ストーブ 下右／内観

昨年に引き続き、本誌及びホームページにて募集した士会会員作品を紹介します。
会員の創意と技術に満ちた作品を紹介する事で、会員の技術力向上とこれを起点としたコミュニケーションによる士会活性化を目的として企画しています。今後も募集する予定ですので皆様の作品を是非お寄せ下さい。
尚、応募作品はホームページにも掲載していますのでご覧下さい。

恵庭市黄金ふれあいセンター

建物概要

所在地：恵庭市黄金南5丁目
建物用途：多目的複合施設
構造規模：木造、地上1階
延床面積：1,065.86㎡
建築年：平成24年3月

設計の意図等

恵庭市が基本構想策定研究を進め、地元町内会、老人クラブ、子育てサークルなどの各団体を委員とした「整備構想策定協議会」を組織し、地域住民のニーズを反映した「整備構想協議会報告書」がまとめられ、この報告書を基に基本設計、実施設計が進められた。

平面計画は基本構想の理念である「ゆるいコミュニティづくり」というコンセプトに基づき、建物の中心に位置するホールを回廊が囲み、そこに各諸室が「カセット」のように差し込むことによって繋がりや独立性が保たれる構成とした。構造は木造在来工法と木造一方ラーメン構造との複合構造とし、構造材は北海道産カラマツ集成材を使用している。外部羽目板、木製サッシ、フローリング、家具、造作材に至るまで北海道産木材にこだわり、木材の持つ温もりと香りに包まれる施設となっている。

(原文抜粋記載)

設計監理：中原 茂人 (苫小牧支部)・柳町 英寿 (恵庭支部)
株式会社 渡辺建築設計

基本構想：北海道大学大学院工学研究院都市地域デザイン学 瀬戸口研究室



写真：上／外観(南側) 下左／外観(西側) 下右／プレイスペース・エントランスホール

丘の上のレストラン

建物概要

所在地：北海道上川郡上川町
建物用途：飲食店
構造規模：木造、地上1、地下1階建
延床面積：456.20㎡
建築年：平成25年4月

設計の意図等

このレストランは上川町の市街地から車で20分ほどの離れた農場地帯に位置し、大雪山連峰の愛別岳を正面に望む小高い丘の上にあります。遠景には大雪山連邦、中景には農場の丘陵、近景には北海道式のガーデンと大変美しい景色を望むことができます。このレストランでは北海道産の良質の食材を丁寧に調理したイタリアンが提供されます。この建物は、美しい景色と北海道イタリアンを楽しむことを目指して計画しており、建物の中心にオープンキッチンを設け、そのキッチンを囲むようにサロンや客席が配されています。客席からはパノラマ状に景色を望むことが出来、建材は北海道産とすることで料理との融合を図っています。

設計監理：佐々木 司 (旭川支部)
株式会社 アイエイ研究所



写真：上／外観 下左／客席 下右／サロン

道本部の主な会議報告

◆第4回 理事会

(開催日) 9月4日(水)

(議案) 議題はすべて承認済み

- 1) 平成25年度一般会計事業報告及び収支状況報告(7月末)
- 2) 平成25年度特別会計事業報告及び収支状況報告(7月末)
- 3) 第39回全道大会(旭川大会)のテーマ(案)
- 4) 支部消費税の算定方法(案)
- 5) 地域高齢者居住環境アセスメント等モデル事業の実施
- 6) 支部会計システムの導入(案)
- 7) 継続的な能力の開発の促進に関する規則に基づくプログラム審査評議会評議員及び専攻建築士審査評議会評議員の委嘱(案)
- 8) 定款第7条に基づく会員の入会承認(案)

◆第4回地域貢献活動センター委員会

(開催日) 9月4日(水)

- 1) 全道大会(恵庭大会)展示パネルについて
- 2) ホームページ及び基金助成申請書について
- 3) その他

施工技術者向け 住宅省エネルギー技術講習会ご案内

地域温暖化防止や東日本大震災を契機としたエネルギー需給の制約に直面しており、住宅分野においてもエネルギー消費に関わる低炭素型社会への移行が大きな課題となっています。早急に取り組まなければならない住宅の省エネルギー化のために、国は新築の住宅・建築物における段階的な省エネルギー基準への適合化を進めており、地域の木工職人や工務店の皆さんにも住宅の省エネルギー化に向けた適正な施工技術の習得が求められています。

つきましては、本道において施工技術者向け「住宅省エネルギー技術講習会」を下記の通り開催致しますのでご案内申し上げます。

【受講対象者】 木造住宅の設計者及び現場施工及び施工管理に携わる技術者・技能者

【受講料】 1,000円

【申込・問合せ】 北方型住宅ECO推進協議会

TEL 011-864-8580 FAX 011-864-6321

※北海道建築士会は主催である北海道住宅・建築生産体制強化推進協議会の加盟団体です。

開催地	開催日	会場名
稚内市	10月2日	稚内総合文化センター
帯広市	10月4日	とかちプラザ
室蘭市	10月8日	室蘭市中小企業センター
新ひだか町	10月15日	新ひだか町公民館
札幌市	10月18日	北海道自治労会館
釧路市	10月30日	道東経済センタービル
中標津町	10月31日	中標津経済センター

道本部の主な行事予定(10月)

- 5日 第3回被災地応急支援特別委員会
- 8日 第5回地域貢献活動センター委員会
- 12日 第4回総務委員会
- 13日 一級・木造建築士「設計製図」試験
- 19日 第56回建築士会全国大会「しまね大会」

関係機関等会議出席状況

- 10日 北海道設備設計事務所協会 式典、祝賀会
高野会長出席
- 18日 日本建築士会連合会第7回定例理事会
高野会長・石川統括理事出席

建築士試験「学科の試験」合格者(北海道)

	実受験者	合格者	合格率
一級建築士	759名	102名	13.4%
二級建築士	801名	152名	18.9%
木造建築士	7名	0名	0%

平成25年度 第三・四期 建築士定期講習 受講案内

平成20年11月28日施行の改正建築士法により、建築士事務所に所属するすべての建築士は、登録講習機関が行う定期講習を3年以内ごとに受講しなければなりません。建築士事務所に所属する方で、平成22年度(平成22年4月～平成23年3月)に建築士定期講習を修了した方及び平成21年度以前に建築士試験に合格し建築士として登録した方でまだ受講していない方は、平成25年度中に当該建築士定期講習を受講しなければなりません。

※講習日、会場受付期間等の詳細は、北海道建築士会HPでご確認ください。

※受講案内、受講申込書の郵送も行っております。本部事務局(011-251-6076)までお問い合わせください。

〈講習会受講料割引のお知らせ〉

本会が開催する定期講習を受講された方へは、北海道建築士会本部が主催する講習会(建築基準法講習会等)を対象に受講翌年の3月31日迄有効な割引券(受講は1回限り)を発行します。

※割引券は、定期講習当日に配布します。

◆割引額 会員 2,000円 会員外 1,000円

建築士会会員 みなさまの声 大募集

情報委員会では、ひろく皆様から、ご意見・ご要望(リクエスト)を募集いたします。「こんなこと知りたい」「わたしの主張」などなど……。

よりよい紙面づくり、ホームページのために会員みなさまの声をお聞かせください!

メール(urakami@h-ab.com)またはFAX(011-222-0924)、郵送でも受付いたします。

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
(一社)北海道建築士会 情報委員会 宛て

地域貢献活動センター委員会



委員長
佐藤 芳則 (苫小牧支部)

宗谷支部から申請が有り委員会
で助成を決定した宗谷管内の小学
生による絵画コンクール「ぼく
の・わたしのここ一番」という事
業が、9月9日(月)～15日(日)
の7日間の日程で駅前再開発ビル
にて開催されます。未来を担う児
童達の創作活動を通じて安全・安
心な社会を造る建設産業の重要
性・魅力を広く市民にアピールで
きればと思います。

9月20日(金)・21日(土)に
開催される第38回全道大会(恵庭
大会)の展示パネルに「これから
のゴミステーション(札幌支部青
年委員会)」と「森林を核とした
循環型のまちを目指す(下川町エ
コハウス推進地域協議会)」を選
び、着々と準備が進んでいます。

地域貢献活動センターのリーフ
レットは、法人名や募集期間等を
改訂し終わり、全道大会(恵庭大
会)で配布いたします。

今まで助成してきた事業がホーム
ページ上で閲覧できるようにす
るため、デモページを作成し検討
してきました。今後増えていく助
成事業を素早く紹介できるように
報告書の書式の改訂を含めて討議
して参ります。

地域貢献活動センターは、住民
主体の地域づくりと建築士を結び
つける活動に対し支援を続けて参
ります。

皆さんに相応しいパターンの
「地域貢献活動」を提案して頂け
れば幸いです。

今年度は9月末で応募を終了さ
せて頂きますが、来年度も年明け
早々から募集開始しますので、ど
しどし応募していただきたいと思
います。

総務委員会



副委員長
大原 公子 (札幌支部)

平成24年1月に総務委員会副委
員長を仰せつかり1年10カ月を過
ぎようとしています。新米委員で、
ましてや副委員長などとおこがま
しい限りですが、新米なりの意見
も貴重かなと勝手に思っ参加さ
せていただいています。

総務委員会の所管事項の1つは
「組織の見直しと会員増強」です
が、超高齢社会、景気の低迷等で
会員増強が見込まれる状況にない
のは明らかです。委員会の議論の
中では必ず話題としてあげられま
す。委員の方々もいろいろなアイ
デアをお持ちなのですが、とても
難しい課題だと感じています。

先日の総務委員会では、退職後、
脱会する高齢会員を繋ぎとめるた
め賛助会員とするという案が出さ
れましたが、会員としての権限縮
小など効果に対する疑問の声もあ
り、継続検討としました。個人的
には、将来会員の大半が高齢者と
なる現状を考慮し、高齢会員の活
躍の場を積極的に創出していくこ
とが重要だと思っています。

新規会員の確保については、将
来の建築士候補者、特に建築施工
管理技士を準会員として勧誘して
いくための建設業界への働きかけ
も必要だと思います。

また、建築士会入会のメリット
については、人との繋がりが出来
ることが1番にあげられますが、
CPDや専攻建築士といった制度
の価値を上げていく活動(制度活
用を行政庁に要請する等)や超高
齢社会や防災等への対応といった、
社会的要請に適切かつ迅速に
貢献できる組織づくりが今後の
建築士会の最大のメリットに繋が
ると考える今日この頃です。

事業委員会



平成25年度一級建築士
受験者講習会を開催して
委員
坂井 正周 (札幌支部)

一級建築士受験者講習会を無事
開催することが出来ました。

今年は本試験までの間の期間に
余裕を持って学習して頂けるよう
に、例年より一ヶ月早い5月25日
26日に開催しました。また、模擬
試験を受験者講習会とは別に本試
験直前の7月14日に建築士会本部
会議室にて行ないました。

受験者講習会の参加者は7名
(建築士会会員4名、会員外3名)、
模擬試験は9名(建築士会会員6
名、会員外3名)が受けられました。
また受講生の中には函館や室
蘭方面から遠方の方もおりました。

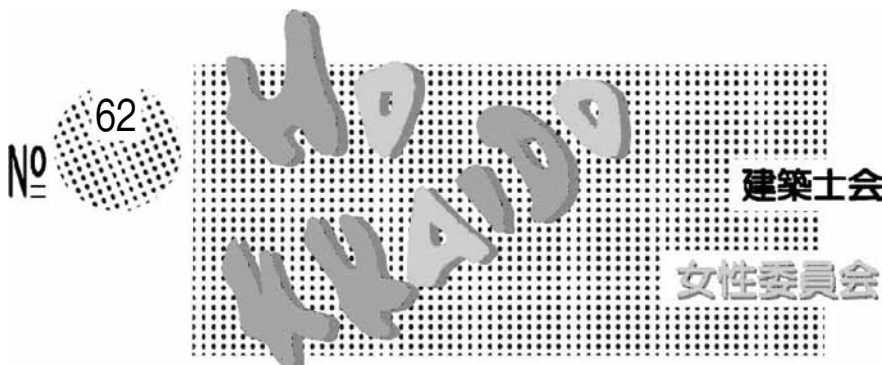
私が担当したのは25日の計画と
法規で不慣れな講義ではありまし
たが、同じ25日の午後の環境設備
を講義頂いた設備設計一級建築士
成田氏、26日の構造及び施工講義
をお願いした長谷川氏、模擬試験
監理の河村氏のご協力に助けられ
て講習会及び模擬試験を無事終え
る事ができたことを、この場をお
借りしまして、お礼申し上げます。

尚、今回受講された方からは構
造についての理解がとても深まっ
たという感謝のメールが本部に寄
せられております。

来年も少しでも受験生のお役に
たてる事ができる講義を目指して
開催していければと思うところで
あります。

また、非会員の方には是非来年
この講習会を受講して頂き、試験
に合格して新たな建築士会会員と
してご入会して頂けることをお願
いしたいところであります。





全国女性建築士会連絡協議会報告

道央Aブロック 早川 陽子

私が初めて参加したのは平成7年。以来、全建女は建築士会事業の中でも問題意識、参加意識が高く、開催が待たれる事業の一つに成長しました。



7月13日(土)14日(日)東京。「地域と共生する居住環境づくり」のテーマのもと300名を越す参加者でした。北海道の参加者は7名。総合司会の本間委員長、分科会担当の東連合会委員、金子、工藤両副委員長は分科会のコメンテーター、サポート役として北海道の女性達が大活躍の熱い2日間でした。

【1日目】全体会

○基調講演「江戸に学ぶ狭苦しさ」建築家天野彰氏が自ら手がけた事例から、負を正にする発想で様々な生活スタイルを軽快なトークで講演されました。

○単位士会活動発表

UD(兵庫)、DIG(鳥取)、建築士が地域と連携して社会貢献した好事例で、これからは職能を生かした外向けの活動の必要性を感じました。

○「震災被災地における現状報告と取り組み」岩手、宮城、福島、

長野。3.11以降、自ら考え行動し、建築の枠を超え社会問題とも関わりながら未来への希望をあきらめない姿勢は、参加者の心に一石を投じたように思いました。

○「高齢者・障害者の居宅サービス受給に適した住宅事例調査」(H24年度)進捗状況が永井連合会女性委員長から報告され、全国レベルの事例報告書の完成が楽しみです。

【2日目】分科会

話題性のある事例発表を基に問題提起～意見交換で構成。

全国の参加者が一同に集まって討論する…このパワーを実感出来る事は大きな魅力であり、これからも持続してほしいものです。

北海道は4分科会に参加。

- (A) 防災への取り組み(金子)
- (B) ボランティア活動の報告と取り組み
- (C) 歴史的建造物と建物再生(吉田)
- (D) 環境共生住宅と素材
- (E) 景観まちづくり
- (F) 子どもと住環境
- (G) 高齢社会(東、工藤、種田)
- (H) 集まって住む(早川)



H分科会の様子/WS形式で意見交換

全国の女性達との交流は視野を広げ自らの可能性を気づかせてくれます。紙面ではそのパワーを伝えきれません。参加経験のない皆さん、次回は是非ご参加ください。

第2回女性委員会報告

女性委員長 本間 恵美

7月27日に第2回女性委員会を開催しました。出席者9名。

■全道大会分科会について

- ・講師2名より庭や外構についての講話の後意見交換
- ・アンケートの実施(担当吉田)

■活動報告パネルについて

- ・前年の女性委員会の活動(各支部での活動を含む)について写真にて報告。(担当新海)

■女性建築士の集いについて

- ・9/22 担当5名により運営

■道受託事業「建築士による家庭科住教育出張講座」について

- ・9/2 旭川凌雲高等学校 道央Aブロックより3名 道北ブロックより7名参加予定
- ・12/10 白老東高等学校 道央Aブロック、道南Bブロックより10名程度参加予定

■住教育講座のための「建築士向けセミナー」について

- ・10/5 札幌で開催。会誌にチラシを同封して参加者募集

■教師向け家庭科住教育出張講座について

- ・10/25 函館商業高等学校において開催。渡島・檜山地区の20名程の家庭科教諭が参加予定。女性委員会より3名と函館支部より2名程度の講師を派遣予定

■連合会女性委員会について

- ・7/13・14東京開催の全国女性建築士連絡協議会は7名が参加 A分科会「震災①防災への取り組み」では、釧路支部の金子ゆかりさんが、行政と共同で行った町内会を対象としたDIGのワークショップについて報告
- ・高齢者・障害者の住宅事例調査は、全国34都道府県102事例中、北海道は12事例を提出

委員会終了後は、毎年恒例となっている、札幌大通りビアガーデンの納涼会で盛り上がりました。

網走支部

音楽慰問コンサート

事務局長

山口 悟



平成17年から、「建築士の日」事業の一つとして歌手「水木ジュン」による、高齢者施設へのライブ演奏、音楽慰問を事業として続けています。支部としてコンサート慰問活動を支援しています。

今年で9回目となり7月13、14日に開催しました。

今年度は市内でグループホームなどの高齢者施設3ヶ所を慰問しました。

お年寄りの皆さんはライブ独特の音楽の生音を体全体で感じて、またコンサートの臨場感を体、耳から感じて、じっと…聴き入っていました。昔からの想い出深い曲、懐かしい歌謡曲、その時代を映している曲などが約10曲をプロ歌手、水木ジュンさんから披露されると、曲を聴いてお年寄りの皆さんは心から感動されて、曲を思い出して涙を流される方も見られました。



長い人生でのたくさんの山、谷を乗り越えてきたお年寄りの方には心に染み渡る様子でした。水木ジュンさんやスタッフの方は皆さんに「また来ますよ…」とお声をかけてコンサートを終了しました。



上富良野支部

支部の現況

事務局員

佐藤佳菜子



上富良野支部はその名のとおり上富良野町に住んでいる建築士や事業所で構成された地域密着型の小さい支部ですが、その分、植栽や花見、ビールパーティー等の行事の時などは協力してワイワイ楽しく活動しています。普段仕事が忙しくても、みなさん活動に参加していただき、本当に感謝しています。

私は建築士会上富良野支部に入会してから12年目になります。

ここ何年か会員の異動のほとんどない状況でしたが、最近何名か新しく入会していただきました。

ただ、12年経った今でも支部の中では私は最年少で、しかも私を含め女性は2名しかいません！青年部員も8人しかいません！！必然的に全道大会やブロック協議会には決まった人が参加することになります。他の支部の方々に顔を覚えてもらえるので楽しく過ごせるメリットはありますが、やはり仕事を休んで参加してもらうことになるので、もう少し青年部員が増えて、もっとたくさんの人に参加してもらえたらいいなと思っています。

まずは、11月に開催される町の文化祭で行うパネル展示で、支部の活動をアピールしていきたいと思っています。



植栽事業

北見支部

折り紙女子

女性部会長

奥沢 奈恵



北見の女性部会はピチピチ20代女子の若いパワーとベテラン女性の豊富な知識を分け合い刺激を受けながら仲良く活動しています。



最近の活動は、昨年の折り紙建築講習会から始まり、市民を対象にしたイベントで青年部と共に折り紙建築を実施しています。親子で楽しく作っている姿や建物が立上った時の子供の笑顔が見られたこと大変うれしく思います。その中で地元の建物がたくさんあると子供だけでなく興味を持ってくれる幅が広がりイベントも盛り上がると思います。そこで、今年度から「折り紙建築で北見市の建物を作ろう」を事業として行っています。歴史ある建物から新しい施設、変わった形の建物等たくさんの意見が出ました。現在は試行錯誤して制作しています。一つの物をみんなで作る時間がとても楽しいです。食べて飲んでの女子会もいいですが、この女子会も最高です。年内には3つの建物の折り紙建築ができそうです。そして、次のイベントでたくさんの人に建築に興味を持ってもらい、建築士会を知ってもらえるよう活動したいです。

また、今回の折り紙建築では釧路支部さんの協力もあり行うことができました。ありがとうございます。他支部との交流も大切になりたいので、みなさんよろしく願います。

CPD認定プログラム（9月認定）

- ◆平成25年度応急危険度判定士認定講習会
 《日程及び会場》10月8日(火) 13:30~15:30
 北海道第二水産ビル
 他16か所（下記案内参照）
 《単位数》2単位
 《問合せ先》(一社)北海道建築士会
 TEL 011-251-6076
<http://www.h-ab.com/>
- ◆震災建築物応急危険度判定訓練
 《日程及び会場》10月29日(火) 13:00~15:30
 函館市中央図書館（函館市）
 《単位数》3単位
 《問合せ先》北海道渡島総合振興局
 TEL 0138-47-9466
- ◆工事追い込み期に係る安全管理研修会
 《日程及び会場》10月31日(木) 13:30~16:30
 北海道建設会館（札幌市）
 《単位数》3単位
 《問合せ先》(一社)札幌建設業協会
 TEL 011-261-6182
- ◆「エコな建築セミナー」第3回 応用編
 《日程及び会場》10月5日(土) 13:30~16:00
 倶知安町文化福祉センター（倶知安町）
 《単位数》2単位
 《問合せ先》(一社)北海道建築士事務所協会後志支部
 TEL 0136-21-3366
- ◆平成25年度北方型住宅技術講習会
 《日程及び会場》10月16日(水) 13:30~16:30
 旭川市大雪クリスタルホール
 他5会場
 《単位数》3単位
 《問合せ先》(一財)北海道建築指導センター
 TEL 011-241-1893

平成25年度 応急危険度判定士認定講習会のご案内

今年度も下記日程で開催予定しております。詳細はHP
[\(http://www.h-ab.com/\)](http://www.h-ab.com/) をご覧ください。

開催地	開催日	会場名
旭川市	10月4日	上川総合振興局
札幌市	10月8日	北海道第二水産ビル
函館市	10月29日	函館市中央図書館
帯広市	11月7日	十勝総合振興局
網走市	11月7日	オホーツク総合振興局
室蘭市	11月19日	胆振総合振興局
小樽市	11月20日	小樽市役所
留萌市	11月21日	留萌振興局
岩見沢市	11月22日	空知総合振興局
浦河町	12月5日	日高振興局

1月~2月に札幌市、江差町、旭川市、稚内市、苫小牧市、釧路市、中標津町でも開催を予定しています。

編集後記

先日全道大会、お疲れ様でした。毎年の事ながら開催支部には感謝ですね。

私も他支部の皆さんとの久しぶりの再会に、本当に楽しい時間を過ごさせて頂きました。恵庭支部の皆様、有難う御座いました。

今号の特集は会員作品の紹介です。それぞれ建物用途が違う個性あふれる4作品です。紙面の都合上、個々の詳細情報は掲載できませんが、どれも作者の愛情が感じられる建物ばかりです。是非、あなたも一度、手塩にかけた一品を紹介してみませんか？

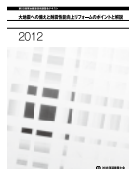
情報委員会 三浦 浩

図書案内



資産価値の高い建築を提供するためのポイントと解説

◎第56回建築技術講習会テキスト
 ◎A4判・88頁 ◎定価：2,625円
 ◎発行日：2013年刊
 ◎発行：(一社)北海道建築士会



大地震への備えと耐震性能向上 リフォームのポイントと解説

◎第55回寒地建築技術講習会テキスト
 ◎A4判・61頁 ◎定価：2,000円
 ◎発行日：2012年刊
 ◎発行：(社)北海道建築士会



実務に役立つ寒地住宅性能向上 リフォームのポイント

◎第54回寒地建築技術講習会テキスト
 ◎A4判・68頁 ◎定価：2,500円
 ◎発行日：2011年刊
 ◎発行：(社)北海道建築士会



民間(旧四会)連合協定 工事請負契約約款(平成23年5月改正)

◎A4判・14頁 ◎定価：700円
 ◎発行：民間(旧四会)連合協定
 工事請負契約約款委員会



建築設計・監理等 業務委託契約書類

◎A4判 ◎定価：1,200円/会員価格：900円
 ◎発行：四会連合協定建築設計・監理
 業務委託契約約款改正委員会



改正建築士法による 重要事項説明のポイント

編集=重要事項説明内容等検討会

◎A4判・80頁 ◎定価：1,300円
 ◎発行：(社)日本建築士事務所協会連合会
 平成21年10月25日改訂版



実務に役立つ 建築法規解説2012

編集=全道建築行政連絡会議

◎第46回建築基準法講習会テキスト
 ◎A5判 ◎定価：3,150円

情報委員会委員長/岡田 隆
 副委員長/三浦 浩・天城 秀典・神田 光英
 委員/森田ゆう子・岡田 光弘・山下 聡
 用田 史門・高松 徹・道塚 勉

北海道建築士 No.194号

印刷 平成25年9月/発行 平成25年10月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011) 251-6076番
 URL <http://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011) 811-7151番